

平成25年度事業報告

平成25年度一般財団法人狛江市文化振興事業団の施設利用、自主事業に関し、以下をご報告いたします。

まず、中長期計画（事業実施計画）最終年となります施設利用状況につきましては、ホール目標稼働率65.5%に対し実績は、57.8%となり達成率は88.2%、対前年度比では5.3%の減となりました。展示多目的室は目標稼働率65.5%に対し実績は、57.6%となり達成率は87.9%、対前年度比では6.1%の減となりました。次年度に向けリピーターの確保等計画に基づき、稼働率の向上に努めます。

なお、10月末に搬出入用エレベーターインバーター（制御抵抗器）の故障のため、1週間程使用が出来なくなり施設利用者にご不便をお掛けしました。エレベーター保守定期検査は区分所有者会経由で実施していたため、連絡が密になっておらず、今後、このような事態にならないよう充分注意いたします。

次に自主事業ですが平成25年度はホール事業19公演（共催公演を含む）、ロビー事業5公演を実施しました。チケット販売状況は完売、もしくはほぼ完売となった公演は残念ながら4公演にとどまりました。前年度同様、多彩なジャンルを実施し、鑑賞型事業では共催事業3公演を含め、比較的知名度の高い出演者を選び実施。主なものとして、鑑賞型参加事業では23年度に好評であった公募による合唱団がプロの合唱団と共演する企画の第2弾として「藤原歌劇団が贈るVIVA, コーラス」を、自主制作事業として昭和音楽大学の協力を得て実施した「S.U.Mジャズ・オーケストラ クリスマス・ライブ」（平成23年度エコルマホール文化芸術支援事業団体も参加）などのホール独自の企画を実施し、いずれも参加者には好評を得ましたが、集客が今ひとつ伸び悩む結果となりました。また、昨年度に引き続き財団法人地域創造の助成事業、公共ホール音楽活性化事業（おんかつ）を実施、市内小中学校4か所へのアウトリーチとホール公演（これであなただもピアノ通！）を行いました。そして、4回目となった自主制作型事業のオープンハウスは吹奏楽をテーマにし、公募による中高校生とプロの音楽家による合同演奏やワークショップなどを実施しました。ロビー公演は若手の演奏家や市内在住の演奏家を紹介するなどの場として、引き続き実施しました。より多くの集客のための宣伝告知などは前年同様に行い、近隣ホール、市内外の愛好者、出演者などの協力を得ています。10月からはツイッターによる情報発信も始めました。支援型事業に関しては、公募により1団体、1個人を決定、実施しました。

25年度は過去に比べ狛江在住、ゆかりのある出演者が参加する事業を多く実施し、知名度という点で一般のお客様には認知度が低く集客では難しい部分がありましたが、地域に密着した事業を実施することは公共ホールとして重要であると認識します。

なお、狛江市勤労者互助会より依頼を受け、9月にエコルマホールでの周年記念事業の企画制作を行いました。

来年度も引き続き市内関係機関などの協力を仰ぎ、充実した事業を実施してゆきたいと考えます。